

電氣通信學會雜誌第二百六十五-六號

第 29 卷 (昭和二十一年四-五月) 第 4-5 號

講 演

會 長 就 任 挨 拶

會 長 黒 川 兼 三 郎

(昭和 21 年 5 月 25 日於通常總會)

一言御挨拶を申し上げます。今回拙らざるも會員多數の御支援によりまして、當學會々長の榮職を汚すことと相成りましたが、顧みますに誠に淺學非才、能く其の任に堪え得るや否や甚だ疑なきを得ないのであります。然し幸に今回副會長となられました逓信院の篠原博士を初めとし多數練達の役員各位が夫々其の衝にお當り下さりますし、又事務當局も極めて熱心に事を處理して頂ける筈でありますので、此の難局を何とか切抜け得るものと確信して居る次第であります。

扱て終戦以來の我が國の國情は誠に憂慮に耐えぬ状態で御座います。明治維新以來の國是でありました富國強兵政策は明治、大正の時代に於ては確かに我が國の發展に寄與する處多大でありましたが、昭和の時代となりまして稍圖に乗り過ぎた形となりまして、殊に滿洲事變に於ける或る意味での成功が侵略主義を助長する端緒となつて、軍閥、財閥に引きづられつゝ今回の戦争となり、終に慘敗の結果に立至りまして、現在吾々國民は身に迫る敗戦の味をひしひしと感じつゝある次第であります。

從來の軍閥上層の指導者達は嘗つて聖戰と名付けられた東亞侵略戰の企畫者として目下聯合國の國際軍事裁判の公判に附せられて居りますし、又中堅指導者は所謂公職追放令によつて其の職を退きましたものゝ、敗戦後の新日本建設に對する民主的指導者層と云ふものは未だ明確に其の姿を示すに至らないと云ふのが現状であります。吉田新内閣の組閣の難航振りを見ましても其の間の消息が窺はれると存じます。物價高に對應しての待遇改善の労働運動は一應成功した形であります。各種の生産は未だ本腰になつて居りません。勤勞者階級の賃金が騰つても、據るべき工場なり會社なりが破産して終つては何んにもなりませんし、騰つた賃金による製品の價格が又一般の物價高を誘致して



會 長 黒 川 兼 三 郎

會 長 略 歴

大正五年早稻田大學理工科卒業、同六年早稻田大學助教授となり七年海外留學、主として米國ケンブリッジ市M.I.T.に於てエー・イー・ケネリー博士に師事、同十年歐洲を経て歸朝、大正十四年早稻田大學教授となる。昭和四年工學博士、同八年逓信省電氣通信技術委員會臨時委員、同十五年電氣通信學會副會長及び逓信省電氣通信技術者資格檢定委員、同十六年日本學術振興會第十常置委員會委員、電氣學會東京支部長、同十七年早稻田大學電氣通信學科教務主任となる。昭和十九年日本電波協會々長、同二十一年電氣通信協會理事及び本會々長に就任。東京都出身。

はこれ又何んにもならない譯でして、現在は或る意味での反省時代とも見られます。政府は國民の預金を封鎖して、所謂新圓五百圓の生活を強要してインフレ對策と云ふかと思へば、他方政府事業の大宗たる鐵道や通信の従業員に待遇改善のためと稱して、鐵道運賃と通信料金の大巾の値上げを實行致しました譯ですが、

斯のやうな施策の不統一と云ふものは私共素人には全く了解に苦しむ事柄であります。

國民の日常生活に對して更に重大なことは日々の食糧のことであります。攝取カロリーの不足のために一般國民の活動意欲は甚だしく低下して居ります。何事をやつても病人上りのやうに物憂さを感じずる次第であります。主食配給の遅延も相當のものでして、或る中央官廳の係長から伺つたのですが、四拾名程の係員の中で中食辨當を持參する者は約半数で、残りの大部分の者は晝食抜きで仕事をしてゐる。近所に食物屋はあるが、平均収入一日八圓で此の物價高ではとても外食は出來ないと云ふ。そこで交替で郷里へ歸して食ひつなぎをやらせやうとすれば、已に歸るに汽車賃も無いと云ふ暗澹たる状態だと云ふことであります。其の他毎日の新聞で御承知どころでは無い、會員各位も食糧危機を充分御體験のことと存じます。食糧問題に對して陛下の御放送が昨日ありましたのも其の重大性を物語る譯であります。

次に話題を工業方面に轉じて見ますに、戦時中は所謂戦力増強の爲に國民の總力は軍需生産に集中されまして、働き得る總べての國民即ち相當の老人から中學校、女學校更に國民學校の生徒まで工場に動員されたのでありまして、第一は航空機の増産、其の次ぎが通信方面で所謂電波兵器の生産と云ふことで、我が學會の會員各位も夫々の職場で全力を傾倒されたのであります。然るにも拘らず、侵略戦争として列國の同情を失ひました日本は見事に惨敗したのであります。此の電波兵器の生産は戦後の調査によりますと、最高年額十五億圓に達して居たと云ふことであります。

終戦後聯合國は日本の戦力を拂拭するために、軍閥や財閥を解體することとなり、軍隊を解散し、航空機、軍艦を初めとして總べての戦闘器材を破壊し去つたのは當然のことでありますが、航空關係に對する條件は頗る嚴重でありまして、製造、研究の禁止は勿論學校に於て航空關係の講義をすることまでも禁止されたのであります。従つて戦時中電波兵器の生産に寄與した通信機の製造工場に對しても相當嚴重な條件を付けられるものと心配された向きも多かつたのでありますが、直接兵器に役立つ研究や、テレビの如き差し當つての國民生活に必要な無い研究は禁止されましたが、平和施設として必要な通信機器の生産なり研究は之を認可されたのみならず、通信施設の復舊は他の總べての復興に先行すべきものとして寧ろ激勵さへ與へられてゐると承はつて居ります。従つて我々通信技術で立ちます者としては聯合國側特に其の通信方面の擔當責任者

に對して心から感謝の意を表したく思ふ次第であります。

現在當面してゐる食糧問題のために農地の開拓は確かに重要であります、此の狹隘な國土を單なる農業國として七千數百萬の人口を養ふことは不可能であります。従つて科學と技術が今後の新日本建設のために必要缺くべからざるものと云はれて居りますが、兩者の相違は技術には必ず工業の裏付けが無ければならないと云ふことであります。即ち事業なり製造方面なりの必要性が無ければ技術は發達し得ないのであります。

従つて通信技術者として我が國の現状に於て通信事業の將來性如何と云ふことは誠に重大關心事であります。これに就て逓信院當局の發表を見ますに、日本内地の通信施設は今回の戦災によつて過去七拾年間の蓄積の半ばを失つたと云ふことであります。即ち市内電話回路の 44% が被害を受け、市外線の 58%、電信回路の 75% が其の機能を失つたと云ふことでありまして、其の復興だけでも三ヶ年繼續で約三十五億圓の支出を必要とするさうであります。其の内昭和二十一年度の支出は約十億圓で、其の豫算は既に大體各方面の諒解済みであると承つて居ります。此の外に見返り輸出資産としてのラジオ受信機を含めての通信機器が十數億圓に上る筈でして、如何に物價高を考慮に入れましても、是等の製造が本格的に軌道に乗れば生産工場は相當繁忙を來す譯であります。

加之我が國の電話の普及率は戦前とても誠に低かつたのでありまして、米國の人口 100 に對して 14.4、英國の 5.9 に對して、日本では 1.4 に過ぎなかつたのでして、近き將來に於て之を是非 3 程度に引上げたいと云ふのが逓信當局のお考へのやうであります。尙或は表面的かも知れませんが戦前までの日本の通信技術は世界の技術レベルに對して左程に劣つてゐるとも思はれなかつたのですが、此の四ヶ年の戦争中に非常なギャップが出來たやうであります。例へば無線の方で送信機の遅れは左程でもないが、受信機の性能は彼我對照して格段の相違が出來たと伺つて居ります。従つて差當り許さるゝ範圍で技術的にも學問的にも勉強のやりなほしをしなければならぬ状態であります。

斯く考へます時、我が通信技術界は今後研究に、生産に、施設に相當の馬力を掛けなければならぬことは火を踏るより明かなことであります。従つて通信技術者の責務は今後益々重且大でありますと共に其の技術者の集まりたる本學會の使命も亦重い譯でありまして、會員各位の御奮起を特にお願ひする次第であります。

最後に學會の運営に於て一言附加へさせていただきます。

従來電氣關係の學會の運営は相當民主的に行はれて居りまして、例へば各役員は會員の直接選挙によつて選出されたのでありますが、今後は一層民主的傾向を助長させて會員多數の意志を事業上に直接反映せしむべきことは勿論で、之に就ては何人も異論の無いことかと存じます。就ては會員各位に於かれても適當な方法で各自の御意見を或は役員を通じ或は本會直接に御申

出を願ひ度いのであります。其等の申出に就ては役員會で充分論議を盡して實行し得るものは實行してまゐる所存で御座います。

終に當りまして只今日本が直面して居ります危機を突破するために、會員各位が一大勇猛心を奮つて各位の職場に於て折角御奮勵下さらむことを衷心より望んで私の御挨拶と致します。

電氣通信に於ける障礙豫防法と保守上の諸問題*

W. L. ウ オ ー デ ル

(米國陸軍通信隊中佐、聯合國最高司令官總司令部民間通信部電信電話課長)

本日は電話サービスの見地より見た障礙豫防法と保守上の諸問題に就いて御話すること、致しましたが、御承知の通りこれを儘かの時間で述べるには誠に廣範圍に亘る問題であります。又皆様は技術の専門家であらつしやることも承知致して居りますが、この問題を充分取扱ふためには先づ極めて基本的なところを検討する必要があると存じます。

私は多年通信に關係しまして最近の數ヶ月間は日本の通信業務を擔當してゐる方々と密接な仕事をして参りましたが、よきサービスを提供する爲めには現在如何なる問題が最も重要視されてゐるかに就いて御話し致し度いと思ひます。

恐らく皆様も事業の運営狀況を示す爲めに多數の「インデックス」を設けまして各種の報告を出すやうに決めて居られると存じます。而して記録や報告が如何に完全でありましてそれだけでは足らなくて、その資料によつてサービスが悪くなりかけたことが分り次第直ちに是正することが必要な譯であります。

凡そ事業と云ふものは目標を持つべきであります。通信事業の場合は財政の安定の許し得る限り最も安い値段で最もよきサービスを出來るだけ多くの人々へ提供することを目標とすべきであると思ひます。この目標に到達する爲めにはよく訓練された有能な組織を以つて事業の各部門を運営することが肝要であります。又初めて新施設を計畫する場合は、「トラフィック」(通話量)關係、商業關係、設備技術等に夫々精通してゐる有能な人員が計畫を立てまして、この目標を満足する爲めに如何なる費用と設備の種類、規模等を要するかに就いて確實な結論を得ることが最も大切であり

ます。

一旦施設を建設しましたら常に保守の問題が伴ふ譯でありまして、如何なる保守の計畫をたてる場合でも必ず幾つかの目標を設けるべきであります。そこで最高幹部では自ら納得の行くやうな基準を確立してサービスの傾向を監視する爲め各種の報告を通じて充分な點檢と比較を行ふべきであります。又如何に資料が業界一完全でありまして有能な人員でそれを正しく解剖して悪い状態を實際に是正するやうにしなければ資料は無駄となります。

一般の事業は金儲けの爲めに競争しますが、日本の電話事業はこれと異りまして米國と同様に競争者のない事業であります。多くの事業に於きましては、この競争の爲めによりよき製品を造る方法を研究して夫々の競争者より更によい條件で品物を賣るやうに常に敏捷であることが必要であります。そこで電話事業に於きましては異つた方面で競争を行ふことが出來ます。即ち各職員も幹部員も自分ら各自の成果の向上を念頭とすべきであります。各自の毎月の目標は自分の成績を本月は前月より更に向上させると云ふことです。もしこの精神を全體の事業體を通じて普及し得れば、必

* "Preventive Maintenance Practices and Maintenance Problems as They Affect Telephone Service", W. L. Wardell, (Lt. Col., U. S. Army Signal Corps. Director of Telephone and Telegraph Division, Civil Communications Section, G.H.Q. SCAP.

本文は昭和 21 年 5 月 25 日、本會通常總會に引續き西山通信技官の通譯にて行はれたる特別講演の要旨である。